

令和2年度 理数数学Ⅰ 年間学習計画（F科1年）

学期	月	学習項目・内容	定期テスト	学習のポイント・留意事項	備考 (使用教材, 課題プリント, 実力テスト等)
1	4	第1章 数と式 (数学Ⅰ)	1 学期 期末	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を含む整式の加法・減法・乗法の計算や因数分解が出来るようになる。 ・実数について理解を深める。 ・根号を含む計算が出来るようになる。 ・不等式の性質を理解し、一次不等式を計算出来るようになる。 ・絶対値を含む方程式不等式の計算が出来るようになる。 ・集合について理解し、命題の真偽、命題の条件を求めることが出来るようになる。 	春課題テスト
	5	第2章 集合と論証 (数学Ⅰ)		<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数のグラフについて理解を深める。 ・平方完成が出来るようになる。 ・グラフを活用し、最大値最小値を求められるようになる。 ・2次方程式の判別式を活用出来るようになる。 ・2次関数のグラフを活用し、2次不等式を解けるようになる。 	進研模試
	6	第3章 2次関数 (数学Ⅰ)		<ul style="list-style-type: none"> ・三角比を鈍角まで拡張できることを理解する。 ・正弦定理、余弦定理を活用する事が出来るようになる。 ・三角比を活用し、面積を求める事が出来るようになる。 ・三角比を空間図形に応用することが出来るようになる。 	(全統模試)
	7	第4章 図形と計量 (数学Ⅰ)	2 学期 中間	<ul style="list-style-type: none"> ・代表値について理解を深める。 ・第1四分位、第3四分位について理解し、箱ひげ図からデータの分析が出来るようになる。 ・分散、標準偏差を求め、データの分析に活用出来るようになる。 ・相関係数を求め、散布図におけるデータの分析に活用出来るようになる。 	夏課題テスト
	8	(復習課題学習)		<ul style="list-style-type: none"> ・順列や組み合わせ、確率の考えに興味・関心を持ち、積極的に活用しようとする。 ・順列や組み合わせ、確率などに条件がつく場合に見方を変えたり具体的な例から対応させたりして処理する。 ・順列や組合せなどを記号で表し、それを活用することができる。 	実力テスト
	9	第4章 データの分析 (数学Ⅰ)		<ul style="list-style-type: none"> ・集合や順列、確率の定義を理解し、公式などを用いて求めることができる。 	進研模試
	10	第1章 場合の数と確率 (数学A)	2 学期 期末	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の性質やチェバ・メネラウスの定理、方べきの定理等に興味を持ち、自ら考察しようとする。 ・既習事項を用いて論理的に考察し、円や直線の位置関係を観察することができる。 ・証明の際に補助線を引いて考察し、チェバの定理等を活用して問題に取り組むことができる。 ・定理や性質を理解し、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 	進研模試
	11	第3章 図形の性質 (数学A)		<ul style="list-style-type: none"> ・約数、倍数の性質を理解し問題を解くことが出来る。 ・ユークリッド互除法を理解し、1次不定方程式を解くことが出来る。 ・整数の性質を数学的に考察し、表現したり多面的・発展的に考えることができる。 	実力養成テスト
	12	第2章 整数の性質 (数学A)		<ul style="list-style-type: none"> ・3次式の展開や因数分解、分数式の計算等が出来る。 ・二項定理を証明に活用でき、分数式等を処理することができる。 ・等式・不等式の証明が出来る。 	進研模試
3	1	第1章 方程式・式と証明 (数学Ⅱ)	学 年 末	<ul style="list-style-type: none"> ・複素数の性質を理解し、2次方程式に応用出来る。 ・解と係数の関係を理解し、活用出来る。 ・剰余の定理と因数定理を理解し、高次方程式を解くことが出来る。 	県下一斉数学テスト
	2				
	3				